



ヤタガラスの八太（やた）です。よろしく。

たかくまだより

R6.4.20 第1号 高塚熊野神社



3本足の八太は、運を導く熊野大神の使者です。

高塚町の皆さんへ

「みこもち」 高塚熊野神社宮司 戸塚昌宏



神社関係の会合で、必ず参加者全員で唱和する「敬神生活の綱領」の2条に「世のため人のために奉仕し、神の**みこもち**として世を作り固め成すこと」とあります。この中の「みこもち」とは、漢字で「宰」「司」と書き、古代、天皇の命を受けて任国に下り地方の政務を司った官人、また国司のことを言いました。元来、「みこもち」とは、神様の「御言（みこと）」＝お言葉をいただいてそれを実行する人の意で、神々の命に従って活動する人を言いました。

神様やご先祖様をないがしろにする人々が多く見られる現代日本において、人々の中に神様・ご先祖様の存在を呼び起こして神意の発揚に務め、日本人の精神を未来に伝えていくことが、私たちの「みこもち」としての使命なのではないでしょうか。

自分の思いが叶うように、人は神々に願い事をし、願いが叶えば、「ここの神様は力がある」と言い、叶わなければ「ここの神様は力がない」と言う。我々には、もっと純粋に「神様は何をお考えなんだろう?」「神様の言う通りにしよう」と言う逆の発想が必要ではないでしょうか?

高塚熊野神社の神様たちは、今私たちに何を伝えたいのでしょうか? (参考 茂木貞純『日本語と神道』)

トピックス

新任職員紹介



佐伯さんは伊勢の皇学館大学の出身、大城さんは住まいが増楽です。さいね。

4月1日から、権禰宜（ごんねぎ）の佐伯篤史さんと、巫女（みこ）の大城みなみさんが着任しました。お宮で見かけた際には是非声をかけてください。

名物「たかくま開運だんご」誕生!

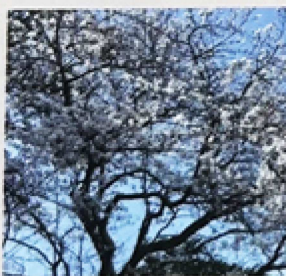


あんこたっぷりの草（よもぎ）だんご 法多山のだんごとはひと味違うおいしさ

お宮の北参道入り口の「たこでん」さんで、お宮とコラボした「たかくま開運だんご」を販売しています。

お宮の四季

桜そして桜!!



ソメイヨシノ（左）に続いて、八重桜（右）が満開に

お宮の疑問

Q なぜ「開運だんご」?

A だんごの包装紙に描かれているヤタガラスが、勝利を導く神、運を開く神とされているからです。

日本神話によれば、大和を征服するため熊野に上陸した初代神武天皇の軍隊を、奈良まで山深い道を案内したのが熊野大神の使者ヤタガラスであったとされています。この神話から、ヤタガラスそして熊野大神は、勝利を導く神、運を導く（開運）神とされています。



サッカー日本代表のエンブレムにも勝利を導くヤタガラスが。

お知らせ

稲荷大祭 4/27（土）

9時から、たかくま稲荷市（47のショップ）、アート展（地元の方の作品展）。ミニコンサート（10時、11時半）。15時からの祭祀、舞に続いて投げ餅。



神社HP

月例文化講座 5/18（土）15時～（高塚会館中会議）

本年度から、神社や神道に関わる講座を毎月1回、12回連続で開催します。第1回は「神道」って何?です。※その後の内容は第1回でお知らせします。※第1回講師は戸塚宮司 入場無料

年間2回発行の「神社広報」（A3両面）（通算34号）に代り、タイムリーでより親しみやすい「たかくまだより」（A4片面）を毎月発行することになりました。